



第74号

●主な記事

平成30年度同窓会総会開催
支部・同期会・OB会だより
母校近況・寄贈図書

平成30年12月25日発行

一般社団法人 長野高等学校金鷄会

事務局 ☎(026)235-3822

発行人 加藤 久雄

編集人 桃林 聖一

URL

<http://www.kinshi.org>

E-Mail

dousoukai@kinshi.org

創立120周年記念事業の見直し案にご理解とご協力を

会長 加藤 久雄 (高13回)

師走の候、同窓生の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、長野高校は、来る2019(平成31)年に創立120周年を迎えます。その記念事業として、教室のエアコン整備等を計画し、4,000万円の目標額を掲げて皆様にも募金をお願いしてまいりました。この間、多くの皆様にご協力いただき、現在のところ、同窓会本部へ届けられたものと、学年独自で募金活動をしていただ

いたものとを合わせて2,300万円余にもなりました。特に、学年幹事の皆様には、一方ならぬご苦勞をいただき感謝申し上げます。

このたび、長野県が県立校にエアコンを設置する方針を打ち出したことにより、事業の内容を一部見直しました。引き続き、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

【事務局より】

今年の夏の異常な暑さもあり、県がエアコンの設置に乗り出してくれることになりました。そこで、PTAを含めた実行委員会を開催し、臨時理事会・学年幹事会を通じて、記念事業に係る新たな方針を決定いたしました。同窓会としては、皆様に今後の方針を一刻も早くお知らせしたかったところですが、情報提供が遅れたことをお詫び申し上げ、ここにご報告申し上げる次第です。

来年度、県では25の高校にエアコン設置を予定していますが、全ての教室が整備されるわけではなく、長野高校では、全日制・定時制のホームルーム全教室と管理室10室のみとなっております。そのほかの教室については、現時点で見直しは立っておりません。

そこで、実行委員会としては、次のように計画を見

直し、創立120周年の記念事業としたいと考えております。

- ①来年度に県が整備できない部分の特別教室(理科室・芸術室・家庭科室等)9室と職員室15室程度にエアコンを整備する。
- ②太陽光発電については、エアコンの燃料費捻出という当初の目的を変更し、売電収益を利用して、生徒たちのために「同窓会太陽光奨学金」を創設する。
- ③長野高校が取り組み、高い評価を受けているSGH(スーパーグローバルハイスクール)事業について、今年度で文部科学省の指定期間が終了するが、学校として企画している後継事業を支援する。

以上から、募金の目標金額4,000万円に変更はありませんので、どうか現役生のために引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。



平成30年度課題研究発表会が開催されました。各教室に配置されている電子黒板を利用してプレゼンテーションをしている様子です。



8月29日、吹奏楽班が長野県代表として第73回東海吹奏楽コンクールに出場し、銀賞を受賞しました。

長野高校創立120周年記念事業

記念式典 2019年10月19日(土) 午後
ホクト文化ホール 大ホールにて

記念祝賀会 同日 18時より 犀北館にて

記念事業 (募金4,000万円+同窓会積立金+PTA協力金での予算概算)

- ①エアコン設置 2,000万円～2,500万円
- ②「同窓会太陽光奨学金」の創設 1,200万円
太陽光発電収益全額を毎年20年間奨学金として生徒の支援に使う。(80万円～100万円見込み)
- ③長野高校SGH後継事業の補助をする 1,000万円
- ④校歌・応援歌CD制作費 100万円
- ⑤その他 桜の植樹・生徒への記念品など 100万円

◆大口の募金募集

既に100万円の募金をしてくださっている方が、お二人いらっしゃいます。100万円以上の募金をしてくださった方には、プレート等を設置するなどなんらかの顕彰をしたいと考えております。また、10万円以上の方はご本人の同意の上で日新鐘紙上にお名前を掲載したいと思っております。上記の事業にご賛同いただき、大口の募金をしていただける方を募集します。

◆募金状況

全体の募金状況・学年ごとの募金状況を同窓会ホームページに掲載しました。順次更新していく予定です。
www.kinshi.org/をご覧ください。

◆振り込み先

八十二銀行 長野北支店 普通 480764
一般社団法人長野高等学校金鶏会

学年幹事会・同窓会総会開催

期 日 平成30年6月23日(土)

場 所 長野市県町 ホテル国際21

出席者 学年幹事会 99名(委任状を含む)

◇学年幹事会議事

- 第1号議案 平成29年度事業報告・決算報告承認・監査報告
- 第2号議案 平成30年度事業計画・予算案承認
- 第3号議案 長野高校創立120周年事業について

◇平成29年度事業報告・平成30年度事業計画

- 1. 会館維持運営事業
 - 2. 旧制中学校資料収集事業
 - 3. 高校生の国際理解涵養事業
 - 4. 市民大学開催事業 5. 貸室事業
 - 6. 池田満寿夫ギャラリー事業
 - 7. 同窓会事業
 - (1)会報「日新鐘」の刊行
 - (2)支部・同期会・OB会への協力
 - (3)ゴルフコンペ (4)在校生への援助 (5)購買
 - (6)日新館事業 (7)結婚相談室
 - 8. 総会、理事会、各種会議の開催
- 平成30年度の事業計画は平成29年度に準じる。

◇同窓会総会

当番回期 高35回・高47回・高59回

◇学年幹事会報告

◇記念講演会

演 題 宇宙開発の仕事 ～地球観測衛星の開発・利用～
講 師 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)
第一宇宙技術部門
先進レーダ衛星プロジェクトマネージャ
鈴木 新一氏(高35回)

◇懇親会

◇平成29年度決算・平成30年度予算

○収入の部 (単位:円)

科 目	平成29年度決算	平成30年度予算	備 考
正 会 員 会 費	13,641,000	13,500,000	
準 会 員 会 費	2,306,000	2,315,000	
特 別 会 員 会 費	24,000	20,000	
寄 付 金	1,345,355	200,000	
貸 室 料	2,668,030	2,800,000	サイエンスカフェ・アートカフェ
市 民 大 学	48,500	80,000	
雑 収 入	244,769	200,100	利息・購買
貸 付 金 返 済 収 入	800,000	800,000	長野高校PTA
奨学金貸付金返済収入	400,000	400,000	
緑の基金取崩収入	600,000	100,000	
創立120周年事業積立取崩収入	4,000,000	0	
そ の 他	361	400	
前 期 繰 越 金	6,191,127	7,558,736	
合 計	32,269,142	27,974,236	

○支出の部 (単位:円)

科 目	平成29年度決算	平成30年度予算	備 考
会 館 運 営 事 業	5,126,514	4,741,000	給料・通信費・補修費等
旧制中学資料収集事業	16,200	30,000	
国際理解涵養事業	200,000	210,000	生徒米国リーダー研修
市 民 大 学 事 業	80,135	129,000	
同 窓 会 事 業	6,933,020	7,140,000	会報発行費・教育奨励費等
管 理 費	4,562,004	4,941,000	人件費・光熱水費・火災保険等
奨 学 金 積 立	400,000	400,000	
退 職 金 積 立	100,133	100,000	
会館設備補修積立	100,000	100,000	
緑 の 基 金 積 立	1,192,400	0	
創立120周年事業積立	2,000,000	0	
創立120周年記念事業実行委員会へ	4,000,000	2,000,000	
予 備 費	0	50,000	
次 期 繰 越 金	7,558,736	8,133,236	
合 計	32,269,142	27,974,236	

母 校 近 況

卓球班

卓球班は現在1年生13名、2年生10名の計23名が在籍し日々練習に励んでおります。

近年県大会から遠ざかっておりましたが、今年の新人体育大会では女子チームが学校対抗戦で北信のベスト8に入り、見事県大会への出場を果たしました。県大会では東信地区の強豪小諸商業を相手に善戦し、敗れはしたものの堂々とした戦いぶりを見せてくれました。この経験を生かし更に技術を高め、精神的にも成長してくれることを願っております。

中学校での経験者が少ない中で地道に練習しながら上達していくのが本校の卓球班の最近の傾向で、チームワークの良さも私たちの誇れるところです。幸い今年の1年男子には経験者が4名おり、加えて新入班員の数も多く、来年は男子も県大会出場に向けて希望が持てる状況にあります。

原学校長も実技指導を含め指導に当たっていますが、休日等にはOBの方々がお忙しい中來校し、後輩たちのために

顧問 高橋政俊

熱心な指導をしていただいております。今後とも引き続きご支援くださいますようお願いいたします。

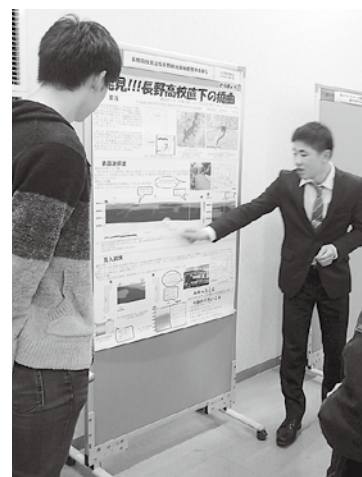


定時制「科学探究」講座の取り組み

昨年度より定時制3年選択授業「科学探究」では、長野高校周辺の地下構造を探る取り組みを行っています。長野高校の東縁には段差(坂)があり、この段差は1847年の善光寺地震のときに生じたと文献に記載があります。ただ、詳しい調査はこれまでほとんどなされていませんでした。そこで、自分達が通う学校の足元を調べることにしました。主な調査方法は表面波探査です。表面波探査とは、人工的に地震を起こし、複数の地震計で地震波を測定し、コンピューターで解析して地下構造を推定する調査です。調査から、長野高校周辺の地下には断層の影響と考えられる地層のたわみ(撓曲^{たうきよく}といいます)が複数存在すると推察される結果を得ました。この研究結果を昨年度県高文連自然科学専門部で発表したところ地学部門優秀賞をいただき、県代表として2018信州総文祭に参加しました。また、日本地質学会第

定時制 理科 中川知津子

125年学術大会「小さなEarth Scientistのつどい～第16回小・中・高校生地学研究発表会」では優秀賞をいただき、学術的に高い評価を得ました。自らデータを取り、まとめ、考察し様々な発表の場を踏み、生徒は飛躍的に成長しています。多方面からの日ごろのご支援ご協力に感謝申し上げます。



全国高校総体に出場して



8月に静岡県浜松市で開催された全国高校総体のバドミントン個人女子シングルスに出場しました。

1回戦目の山形の選手は、自分と

2年4組 矢島春菜

だいたい同じ技術レベルの相手でした。緊張はなく、ミスも少なく、冷静に攻撃することができ、勝つことができました。

2回戦目の福岡の選手は、自分よりかなり上の技術レベルの相手でした。最初は、相手の貫録に圧倒されて、そのままくずれそうになりましたが、途中で気持ちを切り替えて、全てのショットに食らいついていきました。すると、強いスマッシュが返せたり、相手を動かせるようになり、

少し得点できるようになりました。結果は負けましたが、今の自分の実力は出し切ったと思います。

全国高校総体に出場して、次元の異なるハイレベルの世界を体感しました。スピード、パワー、シャトルさばき…

たくさんの課題が見つかりました。この貴重な経験を、これからの練習に活かして、少しでも強くなれるように日々努力していきたいと思います。

たくさんの応援やサポートありがとうございました。

支部・同期会・OB会だより



高3回

高3回 85歳最後の同期会

私達は昭和20年、長野中学に入学。敗戦の8月までは厳しい軍事訓練や農作業に明け暮れ、翌21年新学校制度のもとで校名が変わり、長野北高に移行する。旧制から新制へ6年間苦楽を共にし、同じ釜の飯を食った仲間たちだ。

今年の同期会は妙高赤倉温泉で開かれた。県内9名、県外から11名、総勢20名の参加である。この歳になると、ほぼ半数が鬼籍に入っている。この2、3年、同期会の運営が大変という地元の声も高く、今回を最後に廃止が決まる。東京では例年新年会を開くので、逢いたくなったら東京へ、ということで合意。高齢を感じさせない大宴会となり、「山また山」で締める。長年この会の存続に尽くしてくれた地元の和田勇、佐藤一郎、北島

悟君には感謝の言葉しかない。

翌日は上杉謙信が祀られる林泉寺に詣で、良い旅を締めくくった。
(丸山一昭)

吹奏楽班甲子会

～「東海大会初出場55周年記念」甲子会開く～

吹奏楽班甲子会は、6月3日(日)、長野駅前「油や」で「東海大会初出場55周年記念」の懇親会を開きました。出席者14人の内15回生が多数を占める中、嬉しいことに17回の森本さんが6年ぶりに横浜から駆けつけてくれました。当日行われた現役の定期演奏会(甲子会からは祝電を送りました)を聴いた人も多く、その余韻に浸りながら(?)和やかなひと時を過ごしました。



吹奏楽班甲子会

はじめに、昨年の甲子会後に急逝された古川さん(16回)の冥福を祈って黙祷を捧げ、続いて代表幹事の塚田さん(15回)が「体を気遣ってほしい。今夜は大いに飲み、語り合おう」と挨拶。乾杯のあとは、昔日の思い出やお互いの今の様子など、1年分(あるいは数年分)の思いを吐き出すように話が弾み、「歳をとって益々元気なのは?」という囁きも聞かれるほどの賑やかさでした。そろそろ後期高齢者の仲間入りをする年代とはいえ、現役で頑張っている人、NPOや自治協議会で活動している人、たっぷりある時間を音楽やスポーツに打込んでいる人など各人各様ですが、やはり気がかりなのは健

康のこと。高血圧・高血糖などは珍しくもなく、大動脈乖離で手術をしたという人もいました。そんな中、「健康のために魚を一生懸命食べるようにしている。特に鯛と鰯がいいようだ」という話をまともに聞いていたら、何と「私は〇〇したい、〇〇します」がいいのだというオチ。高齢社会での生き方指南に一同拍手喝采でした。

首都圏組の新幹線の時刻が迫る中、慌ただしく記念撮影、そして内田さん(16回)のトランペットに合わせて「山また山」を歌い、班長宮島さん(15回)のリードで「フレー、フレー、ナガノ」と声高らかに唱和し、お開きとなりました。

(高17回 丸山憲司)

籠球班OB会総会



籠球班OB会

6月30日(土)、原良通校長先生を来賓としてお迎えし、「平成30年度籠球班OB会総会」を開催しました。原哲夫氏(S28卒)、大橋隆男氏(S32卒)、岡田文男氏(S32卒)、松井忠夫氏(S32卒)、桑原郁男氏(S32卒)をはじめ幅広い年代から26名の参加がありました。

開会にあたり松岡憲四郎会長(S40卒)から、「諸先輩方が築いてきた輝かしい歴史と伝統に思いを馳せるとともに、約600人の会員の親睦をより一層深め、OB会活動を活性化させていきたい。そして現役の活躍を期待したい」との挨拶がありました。

議事では、平成29年度事業報告、現役への支援を充実させることを盛り込んだ平成30年度事業計画案が全会一致で承認されました。

引き続きの懇親会は、試合や練習の思い出を振り返りながら限られた時間いっぱい親睦を深め、最後に恒例の籠球班班歌を合唱し、現役の県大会優勝、会員の健康を祈念しつつ閉会しました。

【ご連絡】

来年の現役とOBの交流戦は、1月3日に長野高校体育館で開催します。交流戦終了後、午後4時からメルパルク長野において新年会を開催します。参加連絡は不要です。多くの参加をお待ちしています。(平成4年卒 小原克彦)

高35回 同窓会総会・同期会報告

6月23日(土)、平成30年度の金鷲会総会が長野市のホテル国際21において開催されました。本年度は私たち高35回卒業生と高47回卒業生が当番として幹事を務め、当日は次期幹事の高36回卒業生のみなさんにお手伝いをいただきました。

総会では、学年幹事会で承認された議案が報告されました。今回は、来年迎える創立120周年の記念事業、これに伴う寄付の積極的な取り組みが確認されたところです。

記念講演会では、宇宙航空研究開発機構(JAXA)第一宇宙技術部門先進レーダ衛星プロジェクトマネージャの鈴木新一氏(高35回)に「宇宙開発の仕事～地球観測衛星の開発・利用」という演題で講演をいただきました。2014年12月に打ち上げられた小惑星探査機「はやぶさ2」が小惑星Ryuguに到着しようとしている時機

を得た講演に一同興味深く聴き入っていました。

今年度は、記念講演会の後、現役3年生のSGH研究発表が行われました。英語による堂々とした発表ぶりに大きな拍手がおくられていました。

続いて行われた懇親会は、例年どおり盛大なものとなりました。昨年同様、アトラクションを割愛し、歓談の時間を多くとるようにさせていただきましたが、まだまだ時間が足りないようにも感じました。

その後、第35回卒業生の同期会を開催いたしました。3名の先生

方と120名を超える参加をいただくことができました。卒業以来の再会もあり、話は尽きず再会を期しての散会となりました。

多忙の中運営に携われた幹事のみなさん、サポートをいただきました事務局の桃林先生、池田さんに深く感謝を申し上げ、総会のご報告といたします。(本間尚治)



高35回



高10回 東京山々会

高10回 東京山々会総会は本年度で千秋楽

7月6日(金)正午過ぎ、ホテルグランドパレスに46名が集合。冒頭、司会の上松恭一君が「本年の総会は平成の年号と共に回を重ねて第30回、奇しくも高校卒業後60周年目の節目の年に迎えることとなった。すでに平成の御世が本30年度で閉じると決まっているので、当総会も本年をもって中締めとしたい」と発言。同期物故者に黙祷を捧げ、会長挨拶、会計報告と続けた後、中村直靖君が「我々が傘寿となる来年度から総会は格式ばらない年2回の懇話会へ移行し、引続き会員の懇親の輪を保っていききたい」として、山々会懇話会実施要領を説明。本日の総会は大相撲本場所と言う15日目の千秋楽となった。

そこで会食・歓談に移ってから千秋楽特集のイベントを実施。前半は希望者による壇上での自由発言。13名の諸君が囲碁、油絵、写真、ワイン、映画製作、手紙交流、蝶の採集等、各人の趣味を活かした日常生活の様子を率直に語ってくれた。後半は高校卒業後60周年を偲ぶ懐かしのメロディ6曲(北国の春、千曲川、高校三年生等)を宮沢邦武君指揮、久保博幸君ハーモニカ伴奏により全員が声高らかに歌い上げ、それぞれ良き昭和時代に思いを馳せたのは言うまでも無い。

須田莊一郎君のリードで信濃の国、校歌を歌った後、北村昌之君の発声による三三七拍子の手締めで総会を中締め。最後に奥信濃が生んだ名唱歌「故郷^{ふるさと}」を歌って再会を約し散会。

金鶏会事務局の皆様には、日新鐘への掲載で30年間に亘り種々

お世話になりましたこと、厚く御礼申し上げます。なお、山々会総会中締めに当り会費積立残金の一部を、73号に掲載された「母校創立120周年企画 募金」に寄付することを決議しましたので、申し添えます。(文：笠原忠興 写真：河野昭一)

高7回 北七会総会

連日記録的な猛暑が続く中、7月14日(土)平成年間では最後となる30年度総会を39名の出席のもと、恒例のホテル犀北館で開催した。

二科会会員会津正治君による記念撮影をしてから、坂野毅君の司会のもと総会に入った。若麻績侑孝幹事長の挨拶では、昨年は13名の仲間を見送ったこと、会報「北七」の表紙写真に会津君の「白馬三山」の見事な作品が掲載できたことの報告があった。そのあと13名に黙祷、続いて宮澤彰副幹事長の事業報告、宮崎忠昭副幹事長の会計報告、柳沢正則監事の監査報告で議事は終了した。

懇親会は、諸事情によりこの5月に閉じた東京北七会代表の北村定君による乾杯で開会。宴は有賀敏文君のピアノ演奏、彼のピアノに合わせた会員の歌等で盛り上がり、また会津君の白馬の写真撮影の苦労話もあり、元気な80歳代の宴会となった。

最後に全員、臉に「白馬三山」を思い描きながら校歌を斉唱、来年の再会を誓って散会した。(宮原弥曾彦)



高7回 北七会



松本金鶏会

松本金鶏会

「第8回松本金鶏会」が7月17日(火)松本市のファイブホルンにて、41名の同窓の皆さんが集まり開催されました。

幅広い年代が一堂に会する恒例の場となっておりますが、毎回40名前後が参集いただける会となっております。

開会に際して、松本金鶏会会長、(株)市民タイムス代表取締役社長の新保力さん(高11回)からご挨拶をいただき、副会長の(株)五千尺代表取締役会長の藤澤繁雄さん(高11回)の乾杯で開宴となりました。

今回はサプライズゲストが本会にいらっしゃいました。事務局も知らせを聞いた時に「おーっ」という感じだったのですが、何と長野高校現役校長の原良通さん(高29回)とのこと。松田好功さん(高29回・八十二銀行常務取締役)の同級生とのご縁から本会ご参加に繋がったのですが、前例のないことでもあり本会は大いに盛り上がりました。スピーチでは本校の最近の動向を中心にお話いただきましたが、何といたっても猛暑対策募金のお話には切実感がありました。ご参加の皆さま、ご支援いただきましたでしょうか。

結びに副会長の(株)日本広告代表取締役社長の池田紀夫さん(高11回)による中締めのご挨拶をいただき、応援団OB山岸利行さん(高31回)によるエールに続き「山また山」の合唱で散会しました。

松本金鶏会は、冒頭に記しました通り幅広い年代のご参加に

よる柔らかな集いです。松本を取り巻く地域にお住まいのOBの皆さま、職場の異動などで松本にご縁の生じた皆さま、一緒に集いて大いに「山また山」を歌いましょう。

本会はいよいよ二桁回の開催が視野に入っております。まず第9回は平成31年2月上旬開催の予定です。

(高31回 金子智雄)

高20回 卒業50周年記念同窓会

思い出とは、脳内に生じる単なるイメージではない。それは事物に宿るものでもある。旧校舎の正面玄関を入り昔のままの木造の内部を見学すると、梅雨時に廊下や体育館の床が湿気でゆがみ盛り上がった様が目に浮かんでくる。そして今は老人の顔そのものだが、かつての面影を残した級友たちにも。

7月21日(土)、44名が母校を訪問し旧校舎と新校舎を見学、続いて善光寺本堂において58名が参加して同期生の物故者法要を営んだ。夕刻よりホテルメトロポリタン長野にて126名で祝賀会を催した。ご来賓として同窓会事務局の桃林聖一先生、恩師の小池宗男先生、山本昇先生のご臨席を得た。

余興として西川幹雄君と北山知恵子さんのギター演奏、堀内光子さんのオカリナ演奏、峯村純夫君の指笛演奏、元プラスバンドメンバーによる演奏などが行われ、会場を盛り上げてくれた。最後に母校120周年に向けての募金を呼びかけて閉会した。本会の実現にご尽力いただいた幹事諸氏、並びに同期生の名簿



高20回



高30回

を最新に整えてくれた岩間光夫君に感謝したい。

高齢になるにつれ健康上の問題、体力、気力、記憶力の衰えと、何かと負の部分が増加する。逆に経験や思慮、判断力などは深まっていくだろう。歳を重ねることが負債ではなく財産となる。そんな生き方が顔に現れている旧友たちが多く見られたことを嬉しく感じた。

(倉科千春)

高30回 卒業40周年記念同期会

8月11日(土・山の日)、卒業40周年を記念する第30回生同期会を長野ホテル犀北館で開催しました。代表幹事の清水雅彦・池亀有造両氏を発起人に、5年前の総会幹事を担当した長野在住者を中心とする幹事会を2月に結成。準備を進め、当日を迎えました。会場には同期生98名が参集、担任恩師のなかで唯一ご存命の横沢沖彦先生のご来臨を賜り、にぎやかな開催となりました。

物故者となられた8名の先生と7名の同期生に黙祷を捧げた後、乾杯に続いて歓談がスタート。どのテーブルでも久しぶりの邂逅に話題が尽きない様子。還暦間近の熟男熟女(?)も、この時ばかりは高校生の表情に戻って屈託なく笑い語らい、かつての金鶏祭に足を踏み入れたかのようでした。

アトラクションでは、ジャズユニット「MC Project」を主宰するギタリスト・百瀬民明氏、2012年中二胡コンクールで金賞受賞の二胡奏者・澤口恵美子氏がコラボ演奏を披露。高校時代によく聞いたフォークソングに場内が声を合わせる

場面もありました。ちなみに二人ともふだんは別の本業にいそしむ同期生です。

最後は和田賢治氏による粋な「万歳三十唱」で心を一つにしたところで、応援団長・小林智明氏が学ラン学帽姿で登場。エールに続く校歌斉唱で、懐かしさに胸を一杯にしながらの閉会となりました。

続く二次会、権堂での三次会でも語らいは尽きず、数年後の再会を誓い合ってそれぞれの帰路につきました。

なお、会場には母校の創立120周年記念のための募金箱を設置。同期生の厚い志は後日、同窓会事務局に納めました。

(浅野浩子)

高40回 卒業30周年記念同窓会

高40回(昭和63年3月卒業)の卒業30周年記念同窓会が、8月11日(土)に長野市のホテル国際21にて開催されました。

来賓として、元1組担任の千葉俊彦先生、元3組担任の堀金達郎先生、元7組担任の春日一俊先生をお迎えし、同窓生156名、



高40回



高50回

計159名の皆様に出席をいただきました。

来賓の先生からのごあいさつをいただき、その後、鬼籍に入った恩師、仲間への黙祷を行いました。高40回同窓会長の元3組山口英彦さんからはごあいさつと会費の一部を長野高校120周年記念事業へ寄付することについて説明をいただき、皆様からご賛同をいただきました。

スライドショーの投影や、当時流行っていた懐かしい音楽、会場には在学当時の「KINSHI」、「長高新聞」、「年間予定表」、「金鷄祭時のクラス法被」等の展示もあり、久しぶりに顔を合わせた仲間たちはあっという間に時間も距離も飛び越えて、当時に戻ったような盛り上がりを見せていました。卒業アルバムの拡大コピーの周りにもたくさんの人だかりができていました。

会の終盤では元応援団長の綿貫秀哉さんをはじめとした元応援団の皆さんが演台に上がり、そのリードにより校歌を斉唱。エール「フレフレ長野」の「腕を直角に曲げ〜！」のコールにはトラウマとなっている恐い上官の応援練習を思い出しましたが、それを懐かしみながら、同窓会は大盛況のうちに閉会しました。盛り上がりは二次会にも三次会にも続いていきました。

今回の同窓会開催にあたり、昨年末から月1回の打ち合わせや金鷄会との連絡調整、各種の展示物の準備等の事前準備にご尽力をいただきました同窓会長と各クラス幹事の皆様、スライドショーの作成や音楽の準備、当日のスナップ撮影をしていただいた元5組の松本祐さん、取りまとめ事務局を担っていた元6組竹内克彦さんに、改めて心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

今回、会場で皆様からお預かりした120周年記念事業への寄付

金は、長野高等学校金鷄会へ納めましたことをこの場を借りてご報告いたします。
(宮澤達也)

高50回 卒業20周年記念同窓会

8月11日(土)、ホテルメトロポリタン長野におきまして、高50回生の卒業20周年記念大同窓会が開催されました。当日は本山元校長をはじめ当時の担任の先生方にご出席いただき、108名の同窓生が一堂に会しました。在学時からクラス単位での活動が少なかったこともあり、卒業後に同級会が開かれていないクラスもありましたので、開宴前から再会を喜ぶ歓声が沸き上がっていました。

この日までに他界された恩師と旧友に黙祷を捧げた後、2時間半ほどの限られた時間ではありましたが、大いに語り合い、それぞれの近況を報告し合いました。最後には校歌「山また山」を全員で合唱して締めとなりましたが、その後も盛り上がりはなかなか収まらず、中には早くも次回を期待する声も聞かれました。

この同窓会の開催にあたり、桃林事務局長をはじめ同窓会事務局の皆様には大変多くのご指導やご協力をいただきました。ご多忙の中、格別のご高配をいただきましたことをここに改めて深く御礼申し上げます。
(幹事 佐野秀和)

管弦楽班OB・OG会

去る8月12日(日)、長野高校管弦楽班OB・OG会が開かれ、



管弦楽班OB・OG会

今年もたくさんのOB・OGの皆さんにお集まりいただきました。その報告及び感想を書かせていただきたいと思います。

会全体の流れとして、まずは私達OBによる演奏、次に現役生の皆さんによる演奏、現役・OBによる合同演奏、交流会、といった順序で進められました。

OBの演奏では、モーツァルトの「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」を演奏させていただきました。実力豊富な皆さんの中に入れて弾かせていただくのは少しばかり緊張しましたが、とても貴重な体験をさせていただけたと思います。現役の皆さんには、「パイレーツ・オブ・カリビアン」の楽曲を演奏していただきました。総文祭の間を縫っての過密スケジュールの中でしたが、とても完成度の高い仕上がりに、非常に感心しました。合同演奏では、和気藹々とした空気の中で「くるみ割り人形」を演奏し、楽しいひとときを共有できました。

交流会では、現役プロとして活躍されている桐山建志先生（高38回）が、バッハの無伴奏ソナタを演奏してくださり、素晴らしい演奏を間近で堪能することができるまたとない機会となりました。

最後になりましたが、ご参加いただいたOB・OGの皆様に対し、感謝の意を表すとともに、今後も管弦楽班の活動に対するご支援をよろしくお願いいたします。（高69回 松本彩花）



高25回

会は特に演目などは無く、当時の班活動の同士がステージに上がり、一人ひとりが思いを代わる代わる語るといった形で進んでいきました。「六十にして耳順」といいますが、皆相応に穏やかな人柄と話し振りでありました。仕事や趣味で長く付き合いのある者もいれば、久しぶりに名前と組を言われて「おうっ」となる者もありました。私などうっかりすると夕べの食事の内容も忘れるくらいですから、皆の変貌ぶりもそんなに驚くようなことではありませんでした。お互いの心の中では「あの時のアイツ」あるいは「あの娘」であり、同じ時代を多感な時期に過ごした者だけにある独特の懐かしさを覚えるものでした。普段の仕事や生活を離れて希望・野望に燃えて過ごした時を思い起こし、今に至った自分を省みる時、それなりに感謝の気持ちも芽生えるものです。歳とともに何かにつけて「おかげさまで～」という言い回しも増えてきたように思います。限られた時間の中ではありましたが皆存分に当時を思い出し、語って会を過ごしました。

都合のある者を除けば半数以上が二次会へなだれこみ、楽しい会を持つことができました。（代表幹事 鮑田英史）

高25回 卒業45周年記念同期会

8月14日（火）、長高25回生の卒業45周年の同期会を開催いたしました。

会場となったホテル犀北館には107名の同期諸君が集まり、和やかに時を過ごすことができました。逝去された恩師、同期生の方々の偲び、黙祷を捧げた後、ただお一人ご出席された恩師原哲夫先生に記念品を感謝とともにお渡ししました。

高5回 長野北高二八会総会

今年度の総会は、9月7日（金）午後12時より長野駅前のホテルメトロポリタン長野で開催された。記念撮影のあと小林敬二幹事のユニークな司会で始まり、今年になってから鬼籍に入ら



高5回 北高二八会



近畿長高金鶏会

れた5名への黙祷が行われた。開会挨拶では、清水正昭幹事が母校へ入学されたお孫さんの学生帽を持参され、被っての挨拶であった。卒業65年前の高校時代の思い出が巡らされた。続いて伊藤治通会長からは、県市会で活躍された中から現代社会の変化に対応する難しさについての話があり、来年度の幹事、小松好人さん、中田徹さんの紹介があった。事業報告では、島田茂事務局長から現在の会員状況について、会員数242名、物故者140名、不明者25名との報告があり、また母校の120周年事業には、個人個人で協力しようとの説明があった。小林康男会計担当の会計報告、宮川清副会長から現状報告と東京二八会が2月に開催された報告があり、乾杯に入った。懇親会での話題をいくつか挙げてみる。

- ・健康問題で近頃、物忘れが多くなり、歩行に変化が出たり、体重減少がみられ、疲れやすくなったこと（フレイル化）や、毎日の運動不足に対して積極的に取り組む必要があること。
- ・今回の総会に、西川春夫先生（社会科、8組担任）が不参加であったが、元気でお過ごしとのこと。
- ・8月に西村直吉さんが亡くなられたが、長年本会の監事を務められ、県職在任中は生環部長、財政課長、東京事務所長、長野冬季五輪では組織委員会事務局次長を務め、退職後は南長野ゴルフ倶楽部の役員になられ、我々二八会の春秋ゴルフコンペでは大変お世話になったこと。
- ・米田佐代子さんは、昭和25年の入学時に二人いた女性のうちの一人で、男女共学の第一期生である。都立大を出られ、50数年にわたり女性解放で知られる「平塚らいてう」の研究に打ち込まれ、上田市真田町四阿高原の「らいてうの家」館長として活躍中であるとのこと。
- ・小林康男さんの「紋章・記章」についての研究論文が紹介された。
- ・山本昇さんは、母校の管弦楽班OB会で指揮をするなど活躍されており、3月には記念発表会が予定されているとのこと。
- ・本会の卒業20周年記念として、母校中庭に植樹された「高野槇」にご神木として神棚を供え、原良通校長、進路係の石野吉宏さん（高25回）に進路に役立ててくださるようお願いをした。

盛り上がった懇親会の最後に、齋藤秀行元応援団長が金鶏の校章の学生帽を被り、校歌斉唱とエールで来年度の再会を期して、今年度の総会を終了した。（学年幹事 原 哲夫）

近畿長高金鶏会総会・懇親会

当初7月7日に予定されていた総会・懇親会でしたが、未曾有の豪雨のため、9月22日（土）の開催となりました。故郷長野から母校の原良通校長（高29回）にも参加いただき、盛会となりました。

総会是小林道明会長（高15回）の進行のもと、昨年度の活動報告及び会計報告がされ、拍手をもって承認されました。そのまま懇親会に移り、小林会長の挨拶と原校長の紹介で始まりました。原校長から母校創立120周年の話、SGH（スーパーグローバルハイスクール）の話などがありました。SGHの関係で台湾の学校と交流、台湾の学生たちとプレゼンとその後のディスカッション、答えの無い課題に取り組む母校の生徒の現状が報告されました。

乾杯は小林博（高3回）さんの音頭です。氏は長年コーラス活動を続けられ、シルバー合唱団としてウィーンでも歌われたキャリアの持ち主です。声高らかな乾杯でした。各テーブルで会話が弾む中、初参加者と暫くぶりの方の話が始まりました。

中牧弘允（高18回）さん。信州は小川村の出身で、国立民族学博物館名誉教授を経て、現在吹田市立博物館館長として活躍されています。小川村は正に日本の中心であり、そのせいか自己中なところがあると言いながら、早くから米国留学するなど視野の広さを感じさせる内容の話でした。エッセイも書きますし、博物館の応援団長と自認されているとのこと。

宮澤和俊（高33回）さん。母校長野高校で5年間教鞭をとった経験があります。数学を教えていました。9つ下の高42回以降の人たちが教え子になります。山岳班、バドミントン班の顧問もしていました。

西村紀夫（高13回）さん。暫くぶりの参加です。同期には、近畿長野県人会高坂会長、加藤長野市長がいます。氏は大阪ー東京ー大阪と建築家として活躍、引退。今は水彩画家として時間を過ごしています。10月16日（火）～10月21日（日）まで、天王寺公園内にある大阪市立美術館で、第37回国際公募日展展に出品されているそうです。

テーブルではさらに話が盛り上がりしました。後期高齢者入りし、今年運転免許証更新テストを受け、合格した。実はテストとは名ばかり「認知症のテスト」です。無事、更新できました、と。今年の夏の暑さは高齢者にこたえる、そのうえ地震、豪雨と災



難続き、その中で御嶽海の優勝は感激した、などなど。

最後に直近の活動計画の案内、集合写真を撮り散会となりました。近くのスナックへ二次会に行く人、帰路に着く人、同期で飲む人、それぞれ別れて夜を楽しまれたことでしょう。

ではお元気で、また新年会で会いましょう。

(高23回 野池 徹)

高19回 古希記念の集い

我々19回卒は「一休会」の名のもと毎年同期会を開催しております。

昨年は、高校卒業50周年を記念して、物故者法要等も実施し、100名近くが集まる盛大な同期会が実施できました。

本年は9月22日(土)ホテルサンルート長野東口内の「茶寮志もだ」に2組担任の中尾先生も参加いただき、60名が集う古希記念一休会総会・講演会・懇親会を開催しました。

総会においては、本年「瑞宝中綬章」を受賞した元新潟地検検

事正の仲田章君に記念品を授与した後、議事を行い、高校創立120周年寄付金80万円等を決議しました。

本年の講演会は塩澤研一君に「メメント・モリ（死を想え）」と題して、彼の生きざまを話してもらいました。

その後懇親会を行い、大いに語り合い、最後に応援団OBのリードで校歌を歌い、エールを実施して散会となりました。

翌日には33年続いている一休会ゴルフコンペを実施し、16人が集いました。

今後も「一休会」をできるだけ続けていきたいと思っています。

(一休会会長 北澤真一)

高10回 卒業60周年同期会

金鶏が台を巣立って60年。早いようでもありましたが、それぞれが波乱万丈の波を乗り越えて、60年生き抜いてきました。過去は、5年ごとに同期会を開催して参りましたが、60周年の節目を全体での同期会の最後にしようと、準備を進めて参りました。既に100余名が他界し、物故者法要も行うべく、土屋良明君に善光寺大本願を手配していただきました。

10月15日(月)午後1時より大本願に60名が参列し、恩師10名、同期生105名の法要が厳粛のうちに行われました。お上人様の有難いお経をいただき、青沼寿一実行委員長による、追悼の言葉を奏上して、全員でお焼香して、物故者の冥福を祈りました。

続いて、ホテルメトロポリタン長野において、午後3時より記念パーティーを開催しました。総員78名が参加し、須田莊一郎君と山口光昭君の司会のもと、青沼寿一実行委員長挨拶、続





いて東京「山々会」笠原忠興会長の挨拶、そして紅一点60年ぶり参加の松原真沙子さんの乾杯により開宴しました。和気あいあいのうちに60年前にタイムスリップして、生き生きと若返って会話が尽きませんでした。

中締めを柄澤英一郎君、そして校歌を大合唱し、信濃の国を歌い、お互いの健康を祈念するとともに絆を深めました。

翌日は、小林一雄君の幹事のもと、有志によるゴルフコンペを川中嶋カントリークラブにて開催し、宇都宮武君が優勝しました。

天候に恵まれ、全て滞りなく実行できました。同期生の益々の健康を祈念して。
(竹本忠二郎)

東海支部総会

長野高校同窓会東海支部の総会が11月10日(土)に、名古屋市内のレストランで開催されました。参加者は、高校7回(長野北高卒)の82歳の方から高校70回の18歳の学生まで、幅広く35名に参加していただきました。特別講演の田原先生の話を知りたいと、家族連れで参加していただいた方、同窓生ではない友人を誘って参加していただいた方など、今までにないような参加の形態でした。

懇談会の前には、田原譲・名古屋大学名誉教授(高22回)の「Hitomi衛星が垣間見た熱い宇宙」という講演がありました。田原先生は、2016年2月17日に種子島宇宙センターから打ち上げられたHitomi衛星プロジェクトに関わってこられた研究者で、Hitomi衛星のもつ意義や果たした役割などを、やさしく解説いただきました(といっても文系の私には難しい話でした)。

その後、最年長の山野井正道様の乾杯、同窓会本部からご参加いただいた桃林聖一事務局長の長野高校の現在についてのお

話がありました。続いて懇談会では、初めての参加者、久しぶりの参加者、常連の参加者などの紹介があり、楽しいひとときを過ごしました。

この会は、従来は隔年で開いてきましたが、今年は皆様の要望を入れて、昨年に引き続いての開催で、また土曜日の昼食会という形をとりました。多くの方々に参加に感謝申し上げます。

(東海支部会長 高24回 和田 肇)

高17回 同期会

8組有志が本年度の同期会は11月10日(土)とし、ホテルメトロポリタン長野を予約した。案内ハガキを投函しようとした矢先、ホテルの宿泊予約がとれないとの情報。当日、芸能イベントが開催されるようで長野市内のホテルは満杯だった。急遽ホテルに確認したところ、17日(土)に予約変更が可能。一週間の順延となった。

当日は50余名を迎え、同期会が開催された。8組幹事団の指揮で写真撮影、黙祷、幹事挨拶を行い、北海道から参加してくれた農学博士・獣医師 宮澤清志君の「目からウロコ 馬よもやま話」を聞いて「馬」についての認識を改めることになった。「馬耳



東風」・「馬の耳に念仏」等「馬」を不当に扱っていると…。

続いて、学年幹事から母校120周年記念事業、寄付状況の説明があり、会場でも募金を受け付け、それなりの金額が集められた。そして乾杯、しばし歓談後、クラスごとに参加者の近況を発表し、代表幹事 鈴木都美雄君の挨拶にあった「かきくけこ：感動・興味・工夫・健康・恋」論を肴にして歓談は続いた。後期高齢者までであとわずかとなったがまだまだ…。

次年度幹事の9組参加者へ引継いで「山また山」を高らかに歌い上げ、散会となった。(佐藤友治)

高13回 平成30年36会を開催

昭和36年3月(高13回)卒業生の集まりを、われわれ同期生は「36会(さんろくかい)」と称しています。長野と東京で開いていますが、長野会を11月22日(木)にホテルメルパルク長野で開きました。

あいにくの曇り空、初冬の寒さに身ぶるいしながらも遠近含めて約40人の“老老男女”が集いました。“老女”と呼ぶには忍びない美女がただ一人の出席。

この年代になると会はず、物故者の御霊に黙祷を捧げることが第一になります。今回は無ければよいが…との思いも空しく、数人の霊に頭を垂れ合掌しました。

今回は記念講演の時間を設け、笠井重光君(5組卒)が「幸福のアラビア・イエメンを訪ねて」と題し、現地の見聞録をプロジェクタの映像を交えて紹介してくれました。見知らぬ人も多い中東

の彼の地を大いに勉強しました。

懇親会のメーンはいつも通り近況報告。長年の趣味の成果、短歌であるいは日本画で、またはゴルフでと優れた成績を納めたこと等々。しかし、「腰が痛い、足がしびれる」など五体の不調の嘆きも多々でした。

会の締めは応援歌、校歌の高唱、これもいつも通り。過ごすこと3時間余。2019年はほとんどが喜寿を迎えます。「ご健勝で」と手を握り、「達者が何より」と声を掛けながら再会の約束をしました。

なお、母校120周年記念募金の途中結果報告があり、目標額(50万円)を大幅に上回る協力金に達したとのことでした。(本会は5組、6組卒が当番幹事を担当しました) (花岡莊太郎)



高13回



回期別対抗ゴルフ・コンペ

同窓会主催のゴルフコンペが9月30日(日)長野カントリークラブにおいて、48名参加のもと新ペリア方式で開催されました。成績は下記の通りです。

- 個人優勝 矢島 茂(高25) グロス91 ネット73.0
- 個人2位 江村 和幸(高20) グロス78 ネット73.2
- 個人3位 植松 悦夫(高34) グロス96 ネット74.4
- 団体優勝 高20(江村和幸・高野晴道・秦昇司)
- 団体準優勝 高34(植松悦夫・松本省司・服部俊直)
- 団体3位 高22(桃林聖一・長澤正樹・湯田守)
- 団体3位 高27(西山哲司・園田正剛・宇野重文)
- 団体5位(高25)／団体6位(高11)／団体7位(高23)
- 団体8位(高19)／団体9位(高24)



池田満寿夫ギャラリー

金鶏会館では池田満寿夫(高4回)の作品を50点余り、常設展示しております。ぜひ、ご覧にお越しください。(平日14時～17時、それ以外の時間は予めご連絡ください。)



結婚相談

ご希望の方は申し込み用紙を電話またははがきでご請求ください。

年齢、性別、学歴等は問いません。

TEL.026-235-3822 長野市上松1-16-12 長野高等学校同窓会 結婚相談室

市民大学事業特集

Science Cafe

金鶏会館サイエンスカフェ報告



◇金鶏会館サイエンスカフェ 9月22日(土) 金鶏会館大講義室

講師 入来 篤史 先生(高28回)
理化学研究所生命機能科学研究センター・チームリーダー
理研・南洋理工大連携研究センター長
演題 「心を育み脳が紡ぐ生命の進化の来し方・行く末」

理化学研究所の入来篤史先生(高28回)をお迎えし 脳神経科学のお話をさせていただきました。今回の講演は、本校現役生徒12名を含めPTA・地元上松地区の皆様など60名ほどの参加者がありました。教育や文化、環境が人類にどのような進化をもたらすか、ダーウィンの進化論を超える新しい進化の可能性について難しくも興味深いお話にいつしか引き込まれ、皆さん熱心に先生の話に聞き入っていました。高校時代の思い出話や学問研究にけるスタンスなど現役高校生にとっても大変参考になる話をさせていただきました。

◇金鶏会館アートカフェ「陶芸教室」 9月1日(土)・15日(土)

長野高校美術教室を会場に、昨年が続いて陶芸教室を実施いたしました。講師は本校OBの小池知久先生(高50回 陶芸作家)ならびに長野高校美術教諭の恩澤謙一郎先生にお願いし、今年は2回シリーズで行われました。参加者は同窓生・PTA・一般市民・現役生徒・小学校3年生・小学校6年生など21名。今年は練りこみの作品に挑戦し、思い思いの工夫を重ねた力作が完成しました。



古代史講座

公開講座

主催：科学研究費補助金(基盤研究(S))「天皇家・公家文庫収蔵史料の高度利用化と日本目録学の進展―知の体系の構造伝来の解明」研究プロジェクト
協力：一般社団法人長野教育文化振興会

於 金鶏会館大講義室

続・古典を読む―歴史と文学―「いま明かされる古代」シリーズ40&中世・戦国

第1回 9月29日(土)

東京大学 史料編纂所 古文書古記録部門 兼 古代史料部門 教授 田島 公 先生
「中世の天皇家の文庫・宝蔵の歴史」―院政期～戦国期までを中心に―

第3回 10月27日(土)

大阪城天守閣 館長 北川 央 先生
「秀吉没後の豊臣家」―大坂の陣はなぜ起こったのか―

第5回 11月10日(土)

名古屋市立大学 副学長・人文社会学部 現代社会学科 教授 吉田 一彦 先生
「『日本霊異記』からみた古代の社会と仏教信仰」

第2回 10月13日(土)

奈良県立橿原考古学研究所附属博物館 学芸課 指導学芸員 鶴見 泰寿 先生
「飛鳥宮からみた内裏・大極殿・朝堂の系譜」

第4回 11月3日(土)

広島大学名誉教授 下向井 龍彦 先生
「平清盛の厳島参詣航路の復元」
―海上保安庁webサイト「潮流推算」で『高倉院厳島御幸記』を読み解く―

続・古典を読む―歴史と文学―「いま明かされる古代」シリーズ41&中世

第1回 12月15日(土)

愛知県立大学 日本文学部 歴史文化学科 教授 丸山 裕美子 先生
「日本古代の移民と文化」―百済・高句麗遺民の動向を中心に―

第3回 2月9日(土)

京都府立大学 文学部 歴史学科 教授 菱田 哲郎 先生
「古代寺院が語る飛鳥時代の文明開化」

第5回 3月9日(土)

追手門学院大学 国際教養学部 国際教養学科 教授 南出 眞助 先生
「中世港町の空間構造」
―古地図と空中写真で読み解く流通拠点のしくみ―

第2回 2月2日(土)

学習院大学 史料館 客員研究員 木村 真美子 先生
「牛車考」―牛に引かれて内裏に参る―

第4回 2月16日(土)

立命館大学 文学部 日本史研究学域 教授 本郷 真紹 先生
「則天武后と光明皇后」

寄 贈 図 書



記備談語
著者 佐藤玄祥(博)氏(市中4回)



古典つれづれ さすらい
著者 仁科文男氏(高4回)



医療・福祉の総合情報誌 JAPAN MEDICAL SOCIETY
2018年6月号～12月号
野村元久氏(高10回)寄贈



「上巻」哀喪「3.11」 災後物語り...ここから。
著者 倉石智證氏(高17回)



「下巻」哀喪「3.11」 災後物語り...忘れないで。
著者 倉石智證氏(高17回)



あの頃、この歌、甦る最強伝説
歌謡曲VSフォーク&ニューミュージック「昭和」の激闘
著者 富澤一誠氏(高22回)



40歳から気をつけたい「眼の成人病」
著者 坂西良彦氏(高23回)



土屋澄子版画集
芸術をたしなみ趣味三昧に生きる
荻原 実氏(高27回)寄贈



脳にいい「推理」問題集
一論理的思考力を鍛えたいあなたへ
著者 鈴木 央氏(高34回)



名門高校100
時代をリードする人物はここから集った
河出書房新社 寄贈



「幻想の24時」

〈第1部〉「0字の時計の話」 〈第2部〉「零の発見の謎」 著者 安藤隆雄氏(高17回)

「時計の文字盤の天は12ではなく0が入るべきである」とする安藤様より、自費出版されたご本を販売し、売上金を120周年の募金に全額寄付したいというお申し出を受けました。

2冊セットで1,500円です。購入ご希望の方は、事務局までご連絡ください。

ご寄付をいただきました。

◆高20回(卒業50周年)の皆様より20万円のご寄付をいただきました。

現役生徒たちに役立つように使わせていただきます。ありがとうございました。



◆高50回(卒業20周年)の皆様より18万円のご寄付をいただきました。

今年度卒業予定の現役3年生の卒業証書入れ購入の資金として使わせていただきます。

◆120周年事業募金

籠球班OB会より2万円、東京長高金鷄会より10万円のご寄付をいただきました。

ありがとうございました。

長野高校吹奏楽班

OB・OG第50回記念定期演奏会

日 時 平成31年3月30日(土)

13:30 開場 / 14:00 開演

会 場 ホクト文化ホール 大ホール 入場無料

曲 目 大序曲「1812年」/チャイコフスキー ほか

皆様のご来場、また多くの吹奏楽班OB・OGの皆さんの参加を心よりお待ちしております。

平成30年度同窓会費(3,000円)のご送金をお願い致します。

今年度の会費未納の方に振込用紙を同封いたしました。
ご協力をお願いいたします。

送金方法

- ①同封の振込用紙を使う
→手数料は事務局負担になります。
- ②インターネットバンキングやATMによる振込
→手数料を引いてお振込みいただいても構いません。
振込人氏名に回期をご記入ください。

9月4日、第39回北信越国民体育大会弓道競技で、弓道班3年生の竹内さんが、「近的少年女子 第1位」「少年女子総合 第2位」を獲得しました。



- ・NHK総合テレビで、毎週日曜24時10分から「ツルネ 一風舞高校弓道部」というアニメが放映されています。実は背景となっている弓道場や校舎は長野高校がモデルになっており、校門は長野西高校、その他長野市内の各地がモデルとして描かれています。
- ・120周年事業の募金にご協力をよろしくお願いいたします。6月に送付した郵便振込用紙をご利用ください。銀行へのお振り込み先は「八十二銀行 長野北支店 普通 480764 一般社団法人長野高等学校金鷄会」です。